

令和5年度

自己点検・評価および学校関係者評価報告書

令和6年5月

学校法人ミズモト学園

専門学校東海工科自動車大学校

1 学校の概況

1. 設置者 学校法人ミズモト学園 理事長 水元久人
2. 学校名 専門学校東海工科自動車大学校
3. 校長名 水元久人
4. 専修学校認可 平成6年3月30日
5. 専修学校開校 平成6年4月1日
6. 自動車整備士養成施設指定 平成12年8月31日
7. 所在地 〒430-0904 静岡県浜松市中央区中沢町80-14
(Tel) 053-474-0213
8. 課程 工業専門課程

9. 学校の沿革

- 1984年 学校法人ミズモト学園を設立
- 1994年 東海マリンアクティブ専門学校を開校
- 2000年 東海マリンアクティブ専門学校を東海工科専門学校に改称
自動車整備学科を新設
- 2014年 東海工科専門学校を専門学校東海工科自動車大学校に改称
一級自動車整備学科を新設
自動車整備学科を二級自動車整備学科に改称
- 2015年 総合マリン学科を廃止
- 2020年 一級自動車整備学科を廃止

10. 建学の精神

心・技・知・友 健全な心を養い、技術を磨き、知識を広め、友を作ろう

11. 教育理念

- (1) プロを目指すなら一流を目指せ。

他の人より優れた技術と知識を習得し、研究と努力を喜びとし、己の職業に誇りと生きがいを感じ、心身共に健全な人
これを一流のプロと言う。

- (2) 人間の能力は、その人の思考と努力によって無限に高めることができる

人は誰でも計りしれない可能性を持っている。可能と思えば可能になり、不可能と思えば、その瞬間から不可能となる。

12. 教育目的

教育基本法の本質に則り学校教育法に従い、自動車整備事業の職業に必要な科学的知識と技術を修得させ、更に教養と人格の向上を図り、優秀な人材の養成を目的とする。

13. 教育目標

二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、二級自動車シャシ整備士、二級二輪自動車整備士の資格取得。さらに、電気・電子に強く、業界が求める二級自動車整備士の育成を目標とする。

14. 設置学科

二級自動車整備学科（昼2年 男女 入学定員40名）

15. 学生数 （令和5年5月1日現在） 46名

16. 教職員数（令和5年4月1日現在） 7名

17. 学校建物面積 3,401 m²

2 本年度定めた重点目標

(1) 教員の指導力向上

①教員の授業力向上

②学生による授業評価「総合的に判断して、私はこの授業に満足している」の項目で評価が「4」「3」が90%以上

(2) 学生募集目標の達成

①オープンキャンパス参加者数目標を達成(入学対象60名)

②オープンキャンパス参加者の歩留率を高める(60%)

(3) 学生指導の徹底

①退学率5%以下

②コミュニケーション能力の向上

(4) 資格合格率100%の達成

①国家資格取得率100%全学年への指導

(5) 就職率100%の達成

①1年次に内定率90%以上を目指す

3 自己点検・自己評価委員会

(1) 委員名簿

- | | |
|----------|-----------|
| ① 理事長・校長 | 水元久人(委員長) |
| ② 学園長 | 水元重友 |
| ③ 副校長 | 内山貴夫 |
| ④ 学科長 | 竹内浩之 |

(2) 自己点検・自己評価の委員会開催記録

令和5年6月7日 第1回自己点検・自己評価委員会開催

令和5年9月20日 第2回自己点検・自己評価委員会開催

令和6年2月21日 第3回自己点検・自己評価委員会開催

令和6年2月21日 自己点検・自己評価の実施

令和6年2月27日 自己評価の結果及び改善方策の設置者への報告

令和6年5月23日 自己評価の設置者への報告(理事会で報告)

令和6年6月1日 自己評価の公表

4 学校関係者評価委員会

(1) 委員名簿

- | | |
|--------|---------------------------|
| ① 成瀬友哉 | 株式会社スズキ自販浜松 サービス本部 部長 |
| ② 神田哲郎 | 一般社団法人静岡県自動車整備振興会 西部支所 係長 |
| ③ 吉田幸司 | 浜松日産自動車株式会社 |

④ 水野貴 専門学校東海工科自動車大学校 元校長

(2) 学校関係者評価委員会開催記録

令和5年5月19日 第1回学校関係者評価委員会開催

令和6年3月4日 第2回学校関係者評価委員会開催

令和6年3月4日 学校関係者評価の実施

令和6年3月13日 学校関係者評価の結果及び改善方策の設置者への報告

令和5年6月1日 学校関係者評価の結果及び改善方策の公表

令和5年度 自己点検・評価および学校関係者評価

(1) 教育理念・目標

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
1	1	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか	4	学園として建学の精神・理念・育人人材像を学校ホームページや体験入学などで周知し、目的は学則に明記している。	4	
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	本校の特色を明確にし、学校案内やホームページにも掲載している。またそれに沿った職業教育を実践している。	4	
1	3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	学園全体また学校としての短期・中期の経営計画を立てて学校運営に取り組んでいる。	4	留学生の募集を含めた計画立案してはどうか。
1	4	学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	学生には学生便覧、入学式、新入生研修で周知し、保護者には学生便覧を確認していただくことで周知している。また、学校案内やホームページにも掲載している。	4	
1	5	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	教育課程編成委員会、業界団体、教員訪問企業等を通して業界のニーズを捉え、教育活動に反映させている。	4	
(1) 課題 特になし。 (2) 改善策 特になし。 (3) 特記事項 特になし。						

(2) 学校運営

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目			自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
2	1	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	年度毎に事業計画が作成され、学園会議での協議を経た後、理事会・評議委員会での承認を経て策定される。	4	
2	2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	年度毎に事業計画に沿った運営方針が策定され、年度当初の学園全体会で全教職員に周知しそれに取り組む体制も整えている。	4	
2	3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	4	年度当初の学園全体会で学園、学校組織図が発表され職務役割が明確にされている。校務分掌も毎年見直し意思決定、業務共に概ね有効に機能している。	4	
2	4	人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	法人本部労務において、必要に応じて就業規則を見直し整備している。	4	
2	5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務に関しては、職員会議を経て校長が決定する。財務に関しては、法人本部において経理規程に則って執行される。	4	
2	6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	業界、地域からの苦情に対して教職員が情報を共有し、早急に対応する体制を整えている。	4	
2	7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	学校紹介・施設設備・資格取得・就職サポート等の学校情報をホームページ上に公開している。また、トピックスも公開し情報発信をしている。	4	
2	8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学籍管理、出欠管理、成績管理、学生募集において各種ソフトを用いて効率化を図っている。	4	
(1) 課題 特になし。 (2) 改善策 特になし。 (3) 特記事項 特になし。						

(3) 教育活動

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
3	1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育目標に沿ったカリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)を策定し、教育課程を編成している。	4
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	カリキュラムポリシーや養成施設の基準に基づき教育課程を編成し、授業科目毎の教育目標や到達目標をシラバスに明記している。	4
3	3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	カリキュラムポリシーや養成施設の基準に基づき、講義と実習をフィードバックしながら技術の定着につながるよう体系的に編成している。	4
3	4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	随時テストを実施して到達度を確認ながら実践的教育を行うことで、教育効果を上げている。また、必要に応じて補習を実施することで学習到達度の底上げを実施している。	4
3	5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	教育課程編成委員会や関連企業、業界団体から業界の現状等の情報を受け、カリキュラム作成、見直しの参考になっている。安全教育では特別教育を充実させる成果を得た。	4
3	6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	1年次から各企業による技術セミナーを実施して職業意識の向上を図り、2年次にはインターンシップの実施など段階的に実践的な職業教育を実践している	4
3	7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	前後期の年2回、学生による授業評価として「授業アンケート」を全教員が実施。同様に、教員相互による授業評価として「授業見学」を実施。結果を教職員で評価・共有し、授業改善や質の向上に取り組んでいる。	4

3	8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	「学校関係者評価委員会」「教育課程編成委員会」において外部の業界団体役職者と企業役職者からの助言等を取り入れ、職業教育の改善の参考にしている。	4	
3	9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	本校学則の「実施細則」「試験、補講、成績評価に関する規程」により規定され、「学生便覧」をもって学生及び保護者に周知している。	4	
3	10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	資格取得のための教科科目がカリキュラムに組み込まれ、課題に取り組みせるなど、適切に指導をしている。	4	
3	11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	自動車整備士養成施設の指定基準に基づき資格や経験年数を満たすとともに、本校の教育目標を具現化できる教員を採用している。	4	
3	12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	自動車整備業界において知識、技術等の専門性に長け、それぞれの現場において指導者経験のある人材を採用する方針をとっている。	4	
3	13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	企業と連携した技術研修会を実施している。また企業主催の研修会などに教員を派遣している。	4	
3	14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	学園全体の教職員研修を年1回、資質向上・能力開発等を目的に実施している。また新任教員には校内外での新任教員研修を実施している。	4	
<p>(1) 課題 令和7年度からの自動車整備士養成施設の教育課程の変更への対応。</p> <p>(2) 改善策 新教科書の発行後にカリキュラム変更などを計画的に進めていく。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(4) 学修成果

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
4	1	就職率の向上が図られているか	4	就職率は毎年100%を維持している。進路指導部が中心となり、早い就職活動に合わせて、全教職員で就職面談、書類作成、面接指導をきめ細かく支援する体制をとっている。	4
4	2	資格取得率の向上が図られているか	4	国家資格取得100%を目標に本校独自のプログラムにより、レベル別にグループ分けした指導をしている。また習熟度の低い学生には放課後の補習等で底上げを図っている。	4
4	3	退学率の低減が図られているか	4	学生と担任との個人面談を年間3回～4回実施し、学生の個々の状況等を把握するよう努めている。また保護者との連携も積極的に行っている。	4
4	4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	企業訪問、就職ガイダンスや卒業生講話時の情報交換により把握している。	4
4	5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生および企業からの情報提供により、本校での教育効果を把握し、教育活動に活かす取組をしている。	4
<p>(1) 課題 卒業生状況を把握し、魅力・特色ある学校運営にフィードバックさせる体制が弱い。</p> <p>(2) 改善策 同窓会など、定期的に卒業生と交流する場を設ける。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(5) 学生支援

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
5	1	進路、就職に関する支援体制は整備されているか	4	「進路実現ノート」をもとに進路指導を実施している。「会社見学会」、「校内企業ガイダンス」を実施して情報収集の機会を提供し、適切な時期に面談を行うことで就職活動を支援し的確なアドバイスをしている。	4	
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任制をとっているため学生からの相談は主として担任が応じるが、状況によって副担任、学科長、副校長が対応する体制はできている。	4	
5	3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	日本学生支援機構貸与奨学金・ミズモト学園貸与奨学金等制度により、学生の経済的側面に対する支援体制を整備している。また、企業奨学金の案内も行っている。	4	
5	4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年4月に健康診断を実施。各学年については、担任を中心に健康状態を把握し、必要であれば家庭とも連携して健康管理に努めている。	4	
5	5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	放課後を利用した実習の復習や整備活動に教員が付き添って支援をしている。また、外部団体主催のエコカーカップに希望者が参加をしている。	4	
5	6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	担任が年3回、定期的に個人面談をし、生活上の悩み等の相談を受け助言を行った。また家庭との連携を密にして生活環境の整備に努めている。	4	
5	7	家庭と適切に連携しているか	4	成績表を送付し成績、出席状況を連絡。遅刻欠席や授業態度など変化があれば速やかに家庭と連携を図っている。	4	
5	8	卒業生への支援体制はあるか	4	仕事に関する相談などの受け入れを行っている。転職・再就職については求人斡旋を生涯にわたり保障している。今年度は卒業生3名の相談受入、内1名に斡旋を行った。	4	具体的にどの様な相談が多いのでしょうか（待遇、転職）。

5	9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内での職業別ガイダンスへの参加、体験授業の受け入れなど積極的に取組んでいる。		
(1) 課題 特になし。 (2) 改善策 特になし。 (3) 特記事項 特になし。						

(6) 教育環境

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	専修学校設置基準及び自動車整備士養成校基準を満たし、適切に整備されている。	4
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる教材、器材およびソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。	4	実習設備において実習室の改修、実習教材や機器の修繕を行い、設備の充実、維持を図っている。	4
6	3	教員に対して、学習指導のための研修や教材の利用についての研修を実施しているか	4	新任教員研修、授業見学、カリキュラム検討、新教材車両についての研修などを行っている。	4
6	4	インターンシップ、研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	企業実習では事前指導、研修日誌、研修期間中の巡回、評価等の体制を整備。	4
6	5	防災に対する体制は整備されているか	4	学園の防災マニュアルに基づいて、緊急連絡体制及び緊急対応の体制も整っている。また、校内において防災訓練を年間に2回実施している。	4
(1) 課題 特になし。 (2) 改善策 特になし。 (3) 特記事項 特になし。					

(7) 学生の受入募集

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	広報年間スケジュールに則り、高校訪問・DM発送・SNSの配信、校外での進学相談会を行い、年間を通じてオープンキャンパス等を実施している。	4
7	2	学校案内等には選考方法など求める人物像や入学に必要なが学力、スキルなどの要件が明示されているか	4	学校案内書、入試要項、ホームページにおいて入学資格、選考方法、求める人物像を明示している。	4
7	3	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	資格取得率、就職内定率、就職実績などを学校案内書やホームページに記載しオープンキャンパスでも説明している。	4
7	4	学納金は妥当なものとなっているか	4	教育内容や施設設備等を総合的に勘案し、適切な金額を考えている。	4
<p>(1) 課題 安定した入学者数の確保。</p> <p>(2) 改善策 オープンキャンパスへの入学対象者の誘致。留学生の募集。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>					

(8) 財務

[適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見	
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	学園および学校として学科の改編を行い財務基盤の安定を図っている。また経費削減を図る一方で、施設や設備を充実させ入学者の確保につなげる策を講じている。	4	
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	事業計画に基づき学校単位で作成され、評議員会を経て理事会にて決定されている。予算執行は予算の権限者により有効性・妥当性を考慮して行われている。	4	
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	私立学校振興助成法に基づく第三者である公認会計士による会計監査を実施しており適正である。	4	
8	4	財務情報公開の体制整備はできているか	4	私立学校法で情報開示の対象となっている財務諸表は毎年作成しており、ホームページで公開をしている。	4	
<p>(1) 課題 継続的に安定した収入の確保が必要。</p> <p>(2) 改善策 入学者数の確保。</p> <p>(3) 特記事項 特になし。</p>						

(9) 法令等の遵守

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

評価項目		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	専修学校、自動車整備士養成施設の設置基準を満たし適正に運営されている。	4
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	個人情報保護ポリシーを定め、その規定に則り諸活動に必要な個人情報を適正に扱っている。	4
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	「自己点検・評価に関する規程」に則り、私立専門学校等評価機構のフォーマットを基準に自己評価する体制が整い実施した。	4
9	4	自己評価結果を公開しているか	4	ホームページでの情報公開の体制を整備している。	4
(1) 課題 特になし。 (2) 改善策 特になし。 (3) 特記事項 特になし。					

(10) 社会貢献・地域貢献

[適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1]

1		自己点検 自己評価	具体的取組	学校関係 者評価	関係者意見
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	整備コンクールの公開、業界団体の職場体験受入事業所に登録し中学生などを受け入れる体制を整えている。	4
10	2	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	中学生の職場体験の受入れなど積極的に行なっている。また、業界団体への講師派遣を行っている。企業、業界団体と連携した技術講習会を開講した。	4
(1) 課題 特になし。 (2) 改善策 特になし。 (3) 特記事項 特になし。					

